

新型転換炉技術成果報告会の開催について

サイクル機構は、機構法に基づき新型転換炉の開発およびこれに必要な業務を行い、平成15年9月30日をもって終了しました。この間、「ふげん」における25年にわたる安全・安定な運転の達成と運転保守経験は、我が国の原子力基盤技術の確立に大きく貢献するとともに、核燃料サイクルの先駆的な実証、原子力発電所における運転管理技術の高度化など、多くの成果を得ることができました。

また、原子力技術に関し優れた成果を達成した施設などに贈られる米国原子力学会ラウンドマーク賞の受賞が日本の施設として初めて決定しました。

この度、これまで機構が行ってきた新型転換炉開発の技術成果をとりまとめ報告する「新型転換炉技術成果報告会」を開催する運びとなりましたので、ご案内いたします。

1. 日 時： 平成15年10月30日(木) 13時00分～16時10分

2. 場 所： 東京虎ノ門パストラル(東京都港区虎ノ門4-1-1 TEL03-3432-7261)

3. プログラム構成

(1) 開会挨拶 13:00～13:05 理事長

(2) 講 演 13:05～14:05

「我が国の原子力政策の展望(ふげんに学ぶ)」

原子力委員長 藤家洋一氏

(3) 成果報告

14:05～14:35 総 論

核燃料サイクル開発機構 理事・敦賀本部長代理 柳澤 務

(休 憩)

14:55～15:25 「ふげん」の運転実績と国際貢献

核燃料サイクル開発機構 新型転換炉ふげん発電所長 新澤 達也

15:25～15:45 大洗工学センターにおけるATR技術開発

核燃料サイクル開発機構 特任参事・大洗工学センター所長 永田 敬

15:45～16:05 「ふげん」MOX燃料製造・再処理実績

核燃料サイクル開発機構 特任参事・東海事業所長 大島 博文

(4) 閉会挨拶 16:05～16:10

副理事長

お問い合わせ先

核燃料サイクル開発機構 敦賀本部 広報課 TEL 0770-21-5023(直通)